

コスモ石油株式会社

2012年度第3四半期決算説明

2013年2月4日

取締役常務執行役員 宮本 諭

2012年11月1日公表の計画通り、順次稼働開始

1

2013年1月
第2トッパースeries 稼働開始



2

2013年4月より
第1トッパースeries 順次、稼働開始予定
新設LPGタンク 使用開始予定

1

＜実績概要＞

2012年4～12月期は、千葉製油所の稼働停止が影響し、連結経常利益41億円(在庫評価の影響除きでは、166億円の経常利益)にとどまった。

2

＜繰延税金資産について＞

四半期毎に見直しを実施している繰延税金資産については、再計上を行わず、四半期純損失815億円を計上した。

3

＜業績予想について＞

1－3月における為替・原油価格の動向が不透明なこともあり、現時点では業績予想の修正を実施しない。

単位:億円

	2012年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	前年同期比
売上高	22,785	22,295	490
売上原価	21,769	21,070	699
販管費	904	940	△ 36
営業利益	112	285	△ 173
営業外損益	△ 71	△ 43	△ 28
経常利益	41	242	△ 201
特別損益	△ 212	△ 191	△ 21
法人税等	598	187	411
少数株主利益	46	28	18
四半期純利益	△ 815	△ 164	△ 651

【参考】

在庫評価の影響	△ 125	136	△ 261
在庫評価除き 営業利益	237	149	88
在庫評価除き 経常利益	166	106	60

単位:億円

	2012年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	前年同期比
連結経常利益	41	242	△ 201
在庫評価の影響(※)	△ 125	136	△ 261
連結経常利益 (在庫評価影響除き)	166	106	60
四半期純利益	△ 815	△ 164	△ 651
①受入原油価格	109.71\$/B	109.59\$/B	0.12\$/B
②為替	80.18円/\$	79.43円/\$	0.75円/\$

連結経常利益 セグメント別内訳

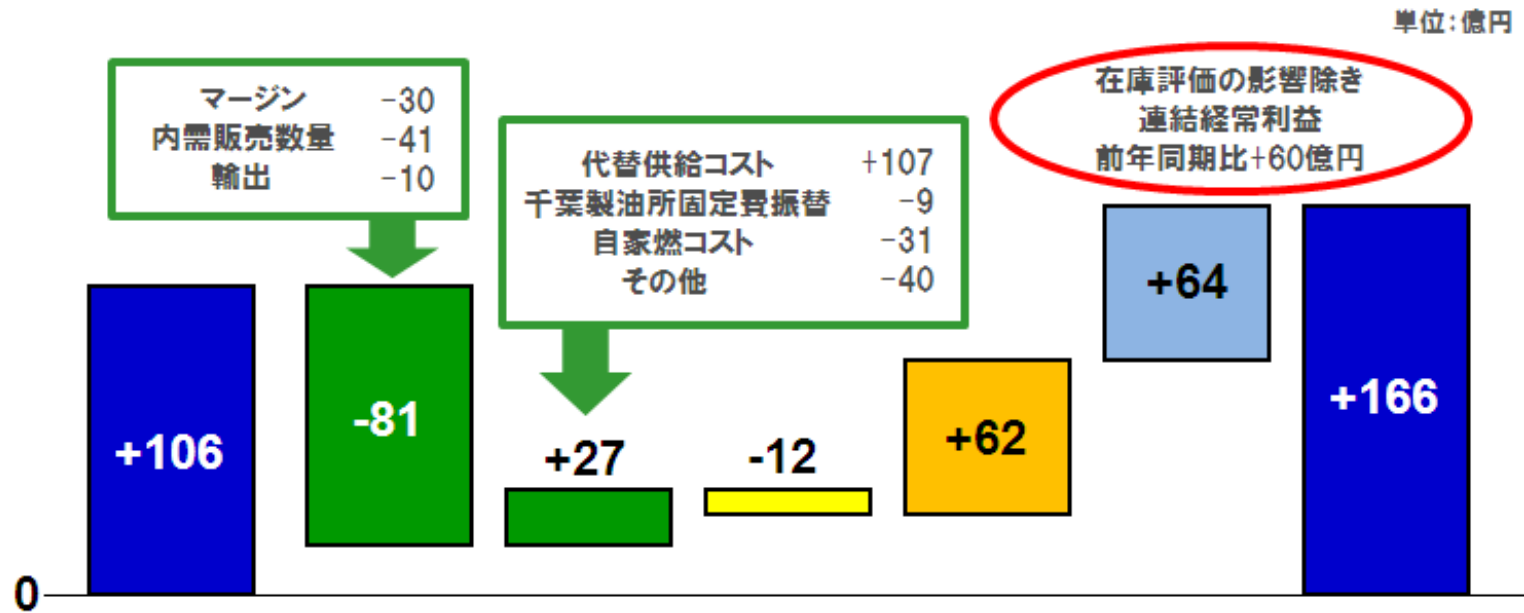
	2012年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	前年同期比
石油事業	△ 377	△ 61	△ 316
石油事業 (在庫評価影響除き)	△ 252	△ 198	△ 54
石油化学事業	2	13	△ 11
石油化学事業 (在庫評価影響除き)	2	14	△ 12
石油開発事業	423	361	62
その他	△ 7	△ 71	64

※在庫評価の影響 ・石油事業 FY2012 3Q △125億円 / FY2011 3Q +137億円
 ・石油化学事業 FY2012 3Q 0 / FY2011 3Q △1億円

主な変動要因

石油事業 代替供給コストが減少し、夏場以降はマージンが改善傾向となるも4-12月期では減益

石油開発事業 生産トラブル解消による生産数量の回復による増益



単位:億円

	実績 (2012年12月末)	前期末 (2012年3月末)	増減
総資産	16,066	16,751	△ 685
純資産	2,534	3,374	△ 840
自己資本	2,283	3,169	△ 886
自己資本比率	14.2%	18.9%	4.7ポイント悪化
有利子負債	8,041	7,212	829
有利子負債依存度	50.0%	43.1%	6.9ポイント悪化
D/Eレシオ(倍)	3.5	2.3	1.2ポイント悪化
ネット有利子負債※	6,706	5,988	718
有利子負債依存度	41.7%	35.7%	6.0ポイント悪化
D/Eレシオ(倍)	2.9	1.9	1.0ポイント悪化

※有利子負債総額から現預金および短期運用資金残高を控除したもの

設備投資・減価償却費等

【12年度3Q実績】

単位:億円

	2012年度 第3四半期	前年同期比
設備投資	262	57
減価償却費等	337	△ 38

設備投資 セグメント別

【12年度3Q実績セグメント別前年同期比】

単位:億円

	2012年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	前年同期比
石油事業	192	121	71
石油化学事業	5	3	2
石油開発事業	70	74	△ 4
その他	4	3	1
調整額	△ 9	4	△ 13
合計	262	205	57

補足資料

- P8 : 【2012年度 第3四半期実績】 販売数量
- P9 : 【2012年度 第3四半期実績】 原油コスト・処理量、稼働率、原油生産数量
- P10 : 【2012年度 第3四半期実績】 セグメント別実績:前年同期比
- P11 : 【2012年度 第3四半期実績】 人員数、油槽所数、SS数、カード枚数別推移
- P12 : 【ご参考:2012年度通期業績予想】 セグメント別予想および原油・為替前提と感応度
- P13 : 【ご参考】 軽油輸出の実績・マージン環境
- P14 : 【ご参考】 石油化学事業 アロマ市況①
- P15 : 【ご参考】 石油化学事業 アロマ市況②

※最新の「データブック」および「用語集」は以下URLのIRサイトに掲載しています。

<http://www.cosmo-oil.co.jp/ir/financial/index.html>

		単位:千KL				
		2012年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	増減	前年同期比	2012年度 通期予想(前年比)
内需燃料油	ガソリン	4,552	4,725	△ 173	96.3%	96.6%
	灯油	1,291	1,313	△ 22	98.4%	94.8%
	軽油	3,349	3,425	△ 76	97.8%	94.7%
	A重油	1,388	1,523	△ 135	91.1%	91.5%
	4品計	10,580	10,986	△ 406	96.3%	95.0%
	ナフサ	4,689	4,766	△ 77	98.4%	100.1%
	ジェット	350	357	△ 7	98.0%	99.7%
	C重油	2,220	1,669	551	133.0%	121.6%
	(内 電力C重油)	1,512	792	720	190.9%	149.8%
	計	17,839	17,778	61	100.3%	99.1%
中間留分輸出	軽油	45	98	△ 53	46.1%	148.3%
	灯油/ジェット	0	64	△ 64	0.0%	0.0%
	計	45	162	△ 117	27.8%	102.8%
保税販売他	ジェット	1,271	1,168	103	108.8%	108.9%
	C重油	382	397	△ 15	96.3%	104.4%
	その他	599	288	311	208.2%	172.2%
	計	2,253	1,853	400	121.6%	118.5%
バーター・その他		6,949	7,249	△ 300	95.9%	89.5%
総販売数量		27,086	27,041	45	100.2%	97.9%

【1】原油コスト・原油処理量・稼働率

		2012年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	前年同期比	
受入原油	原油(FOB) \$/BBL	109.71	109.59	0.12	—
	為替レート ¥/\$	80.18	79.43	0.75	—
	受入原油代(税込) ¥/KL	58,806	58,286	520	—
原油処理	原油処理量千KL	15,092	13,802	1,290	109.3%
	トッパー稼働率(CD)	53.2%	49.1%	4.1%	—
	トッパー稼働率(SD)	82.6%	85.0%	△ 2.4%	—

※SD: 定期整備等の影響を除いた稼働率

【2】原油生産数量

		2012年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	前年同期比	出資比率
開発会社 生産数量 (B/D)	アブダビ石油	21,483	22,111	97.2%	63.0%
	カタール石油開発	7,338	5,835	125.8%	75.0%
	合同石油開発	13,294	9,803	135.6%	45.0%

※生産量: プロジェクト会社の期中平均生産量。(各社12月決算会社のため生産期間は1-9月)

2012年度第3四半期実績 前年同期比

単位：億円

	売上高		営業利益		経常利益		経常利益 (在庫評価・低価法影響除き)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
石油事業	22,412	539	△ 274	△ 263	△ 377	△ 316	△ 252	△ 54
石油化学事業	217	△ 1	7	1	2	△ 11	2	△ 12
石油開発事業	622	12	398	30	423	62	423	62
その他	588	72	14	9	26	13	26	13
調整額	△ 1,054	△ 132	△ 33	50	△ 33	51	△ 33	51
合計	22,785	490	112	△ 173	41	△ 201	166	60

グループ会社（セグメント別）

石油事業	： コスモ石油、コスモ石油販売、コスモ石油ガス、コスモ石油ルブリカンツ他
石油化学事業	： コスモ松山石油、CMアロマ、丸善石油化学(持分法適用会社)、Hyundai Cosmo Petrochemical(持分法適用会社)
石油開発事業	： アブダビ石油、カタール石油開発、合同石油開発(持分法適用会社)他
その他	： コスモエンジニアリング、コスモトレードアンドサービス、エコ・パワー他

【1】人員数推移

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度3Q
石油単体	1,718	1,916	1,957	2,064	2,180	2,135	2,025	1,931
グループ	3,451	3,335	3,299	3,269	3,325	3,268	3,098	2,919

※各年度3月末時点

※グループ:(08年度まで)石油単体+出向 (09年度以降)石油単体+出向+試傭員+シニア社員

【2】油槽所数推移

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度3Q
DT数	38	38	38	38	36	35	35	35

【3】運営者別SS数推移

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度3Q
販社	1,190	1,122	1,104	1,023	1,025	967	939	926
特約店	3,361	3,237	3,021	2,890	2,743	2,642	2,559	2,431
固定式SS計	4,551	4,359	4,125	3,913	3,768	3,609	3,498	3,357
可搬式SS	95	57	53	47	43	36	34	33

※05年度までは12月末時点とし、06年度からは3月末時点

【4】セルフSS数推移(固定式SSの内数)

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度3Q
販社	370	463	507	551	575	548	550	550
特約店	256	326	360	404	429	455	457	441
合計	626	789	867	955	1,004	1,003	1,007	991
セルフSS数比率	13.8%	18.1%	21.0%	24.4%	26.6%	27.8%	28.8%	29.5%

【5】コスモ・ザ・カード枚数推移(06年度よりオーパスも含む数値)

(万枚)

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度3Q
有効枚数	255	280	305	335	357	367	381	394

2012年11月1日公表の2012年度通期予想 前年比

単位:億円

	売上高		営業利益		経常利益		経常利益 (在庫評価・低価法影響除き)	
		前年比		前年比		前年比		前年比
石油事業	29,700	△ 856	△ 240	△ 368	△ 330	△ 410	△ 200	△ 28
石油化学事業	310	16	10	1	10	△ 11	10	△ 11
石油開発事業	860	△ 16	530	12	575	55	575	55
その他	820	104	25	10	40	11	40	11
調整額	△ 1,290	55	△ 45	△ 11	△ 45	△ 9	△ 45	△ 9
合計	30,400	△ 697	280	△ 356	250	△ 364	380	18

原油・為替前提

受入原油価格(通期) : 108.20\$/B 為替(通期) : 78.70円/\$

感応度

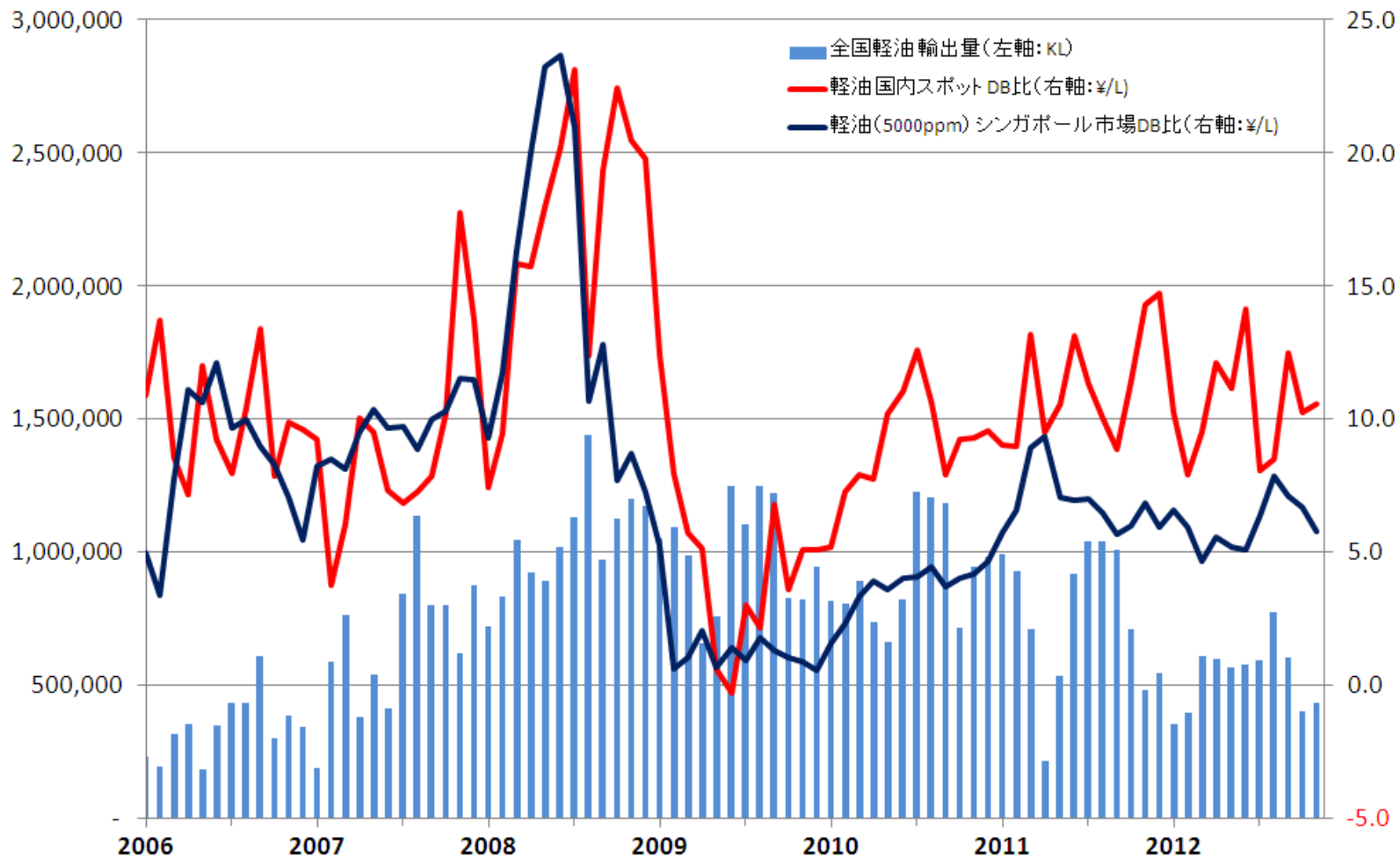
	石油事業	石油開発事業
原油 +1 \$/B	+21 億円	+3 億円
為替 +1円/\$	+29 億円	+4 億円

※上記は原油価格・為替変動の在庫評価益、自家燃コスト、タイムラグに対する影響(低価法の影響は考慮せず)

※当該感応度は、2012年11月に公表した2012年度通期業績予想に基づく内容

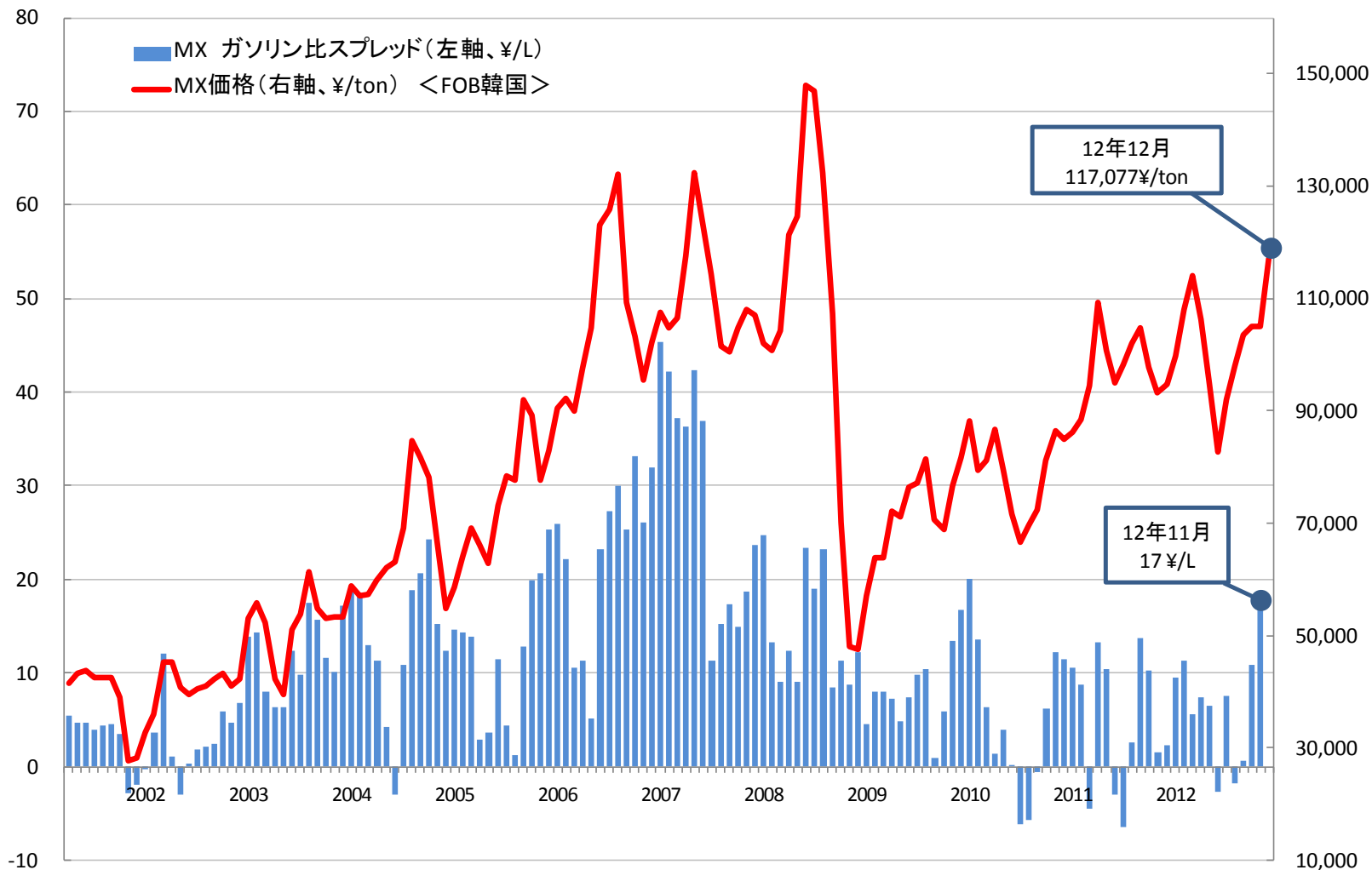
なお、当感応度の期間については石油事業が2012年10月～2013年3月までの6ヵ月間、石油開発事業が2012年10月～12月の3ヶ月間で試算した数字

軽油の輸出量と国内/海外マージンの推移

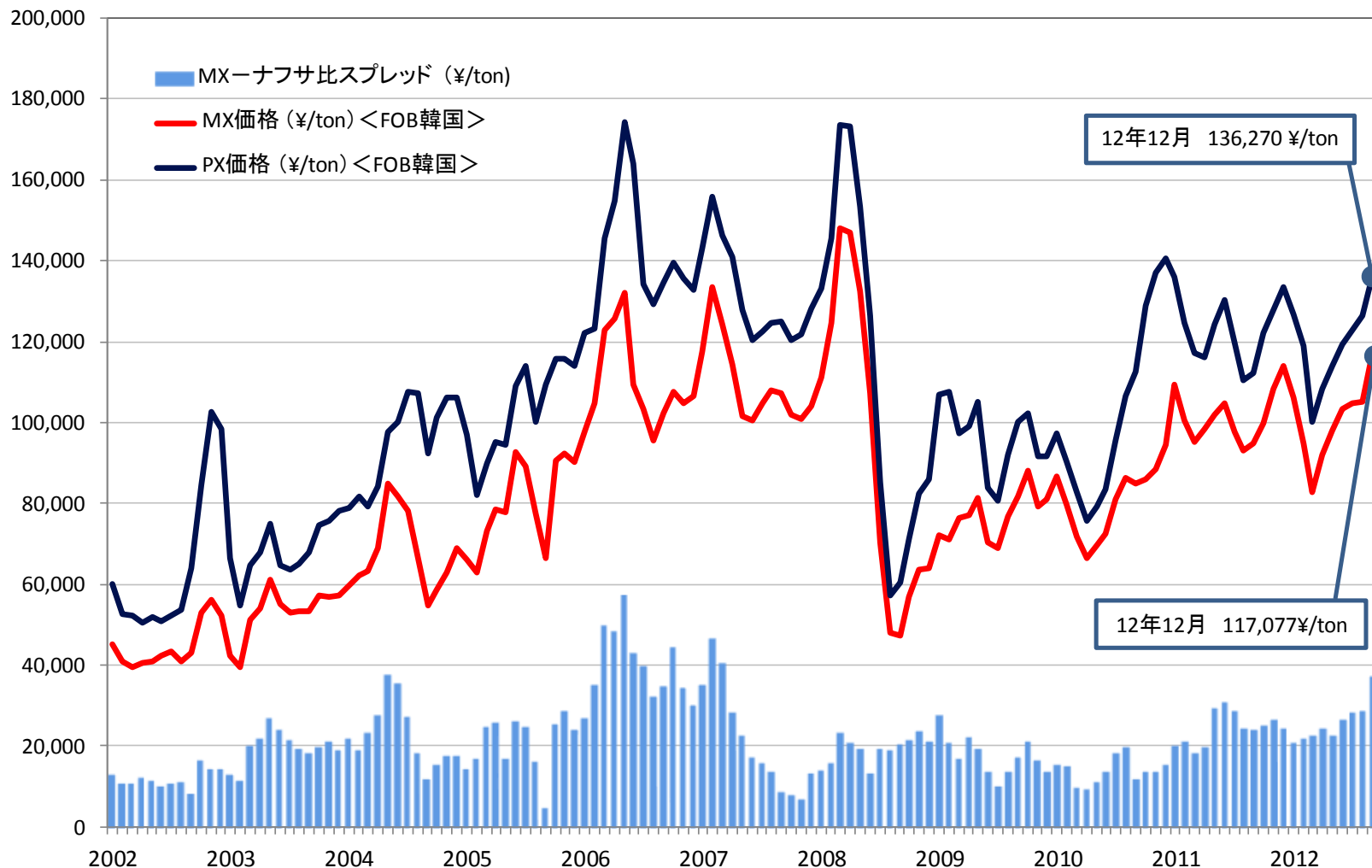


※輸出量実績の公表データは2012年11月が最新情報

【MX市況】MX-ガソリン比スプレッドの推移



【PX・MX市況】MX－ナフサ比スプレッドの推移



見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。